

2018年10月22日
特定非営利活動法人 よこはま成年後見 つばさ
理事長 須田幸隆

新潟県見附市のNPO 法人が視察

日 時：2018年10月22日（月）午後13時～16時
内 容：つばさの法人後見の進め方について
参 加：新潟県見附市 NPO 法人ふくし後見ネット
場 所：認定NPO 法人 よこはま成年後見 つばさ事務所

2018年10月22日（月）、新潟県見附市のNPO 法人ふくし後見ネットの方々（3名）が、つばさの事務所に視察にやってきました。ふくし後見ネットさんは、既に法人後見実施団体として2件受任されています。しかし、課題が出てきたので先行団体から学びたいとの目的で来所されました。

普通視察に来られる人たちは、法人後見を実施するにはどのことで「法人の適格性」を中心に話を進めますが、今回は、それぞれの法人後見の進め方と事前に提出のあった質問への回答を中心に以下の意見交換を行いました。

・支援スタイルの違い

ふくし後見ネット

専門職支援員とふくし支援員

専門職支援員からなかなかふくし支援員に渡せない

つばさ

スーパーバイザーと担当者

担当者は後見的支援、申立支援から加わる

スーパーバイザーは、担当者の相談役、同行役、代替役、家裁調整役
渡すという概念がない

- ・基本理念の樹立
- ・人材養成、育成の重要性
- ・申立支援の必要性
- ・本人申立こそ意思決定支援
- ・後見的支援の重要性
- ・ミクロ、マクロ、メゾ領域の取り組み
- ・診断書の様式変更
- ・余暇活動支援の重要性
- ・報酬の考え方
- ・財政基盤の強化
- ・幹部職員の養成



1. つばさの法人後見

①設立の経緯

パンフレット 福祉職OBらスクラム

②会員・賛助会員の状況

つばさの概要

③受任状況

④法人の基本理念

つばさの守備範囲

⑤つばさの法人後見

- ・担当者養成講座開講
- ・後見的支援（プロジェクトチーム）
- ・申立支援
- ・スーパーバイザー配置
- ・業務検討会開催

⑥業務実績

- ・平成29年度業務報告
- ・余暇活動支援
- ・区民まつり
- ・厚生労働省指定課題 調査・研究

⑦ソーシャルアクション

- ・最高裁家庭局「診断書の在り方」ヒアリング
- ・行政要望

⑧これからの成年後見制度の運用

- ・相談・申立・受任のワンストップ推進

⑨つばさの課題

- ・幹部職員の養成
- ・財政基盤の強化

2. 質問事項への回答

1. 法人後見の被後見人への支援スタイルについて

当法人は別紙1のように複数名での支援を実施したいと考えていますが（現在、受任間もなく事務局がケースの安定に向けて四苦八苦）、つばささんの支援方法をお聞かせください。そして、我々の支援の課題や改善方法をアドバイスしていただきたい。

- ・事務局がケースの安定に向けて四苦八苦とありますが具体的にどのようなことですか
- ・専門職支援員とは、どのような方々ですか
- ・ふくし支援員とはどのような方々ですか

つばさでは、担当者には必ずスーパーバイザーを配置します

- ①会員は、ソーシャルワーカーの経験者で且つつばさの担当者養成講座¹の受講生
- ②スーパーバイザーは、ほとんどが後見人の経験者でつばさのスーパーバイザー養成研修²の修了者

業務検討会を頻繁に行っています 区分³：毎月 2ヶ月 3ヶ月 4ヶ月

<アドバイス>

- 優れた専門職後見人を確保、強化すること
- ふくし支援員にソーシャルワーカーの経験者を充ててはどうですか。

2. 法人職員体制の経緯

今のところ職員は配置できていませんが、ケース数や法人の状況に合わせて、職員等の配置が段階的に必要となると考えています。現在までのつばささんの職員配置のケース数等からの目安や取り組みの経緯等をお教えてください。

つばさでは、常勤の職員を一人雇用しています。

- ・主として経理事務と報酬請求事務
- ・アルバイト雇用の時期もありました

<アドバイス>

- 常勤職員に何を求めるかによって違ってくるのではないかと
- 家裁調整は、スーパーバイザーが行なっています

3. 支援者間の情報共有方法

支援者が1人でないことから情報共有の難しさに直面しています。ファックスやメールなどを用いて工夫していますが、なかなか難しく感じています。つばささんの工夫をお教えてください。

つばさでは、メーリングリストを多用しています

- ・役員専用
- ・担当者用

- ・各プロジェクト用
- ・会員 賛助会員用

<アドバイス>

- フリーのメーリングリストを使用してはどうか
- 個人情報の流失に注意すること（ファイルにパスワード）

4. 法人組織

当法人では法人後見業務スタート前から、役員三役が中心で事業化に向けて取り組んできました。つばささんは法人内でどのような役割分担を行い、運営されているのかをお教えください。

- ・つばさの法人基本理念⁴は、「誰にも等しく権利擁護」です。
- ・組織図⁵を参照してください。

後見事務

3チームに分かれて業務検討会（ケースカンファレンス）

経理事務

経理チーム

<アドバイス>

- 法人の基本理念を明確にすること
- 組織図は、法人の発展の都度見直すこと

5. 経理について

NPO 会計でどのように会計区分を設けているか？実際の財務シート等を用いて仕組みを教えてください。

- ・ふくし後見ネットは、法人立ち上げ時に 600 万円の出資があったのですね
- ・つばさでは、つばさ経理システムが確立されています
- ・税理士のアドバイスを受けています。

<アドバイス>

- 賛助会員を募る、寄付、助成金を申請するなど財政基盤強化の工夫をすること
- 職業後見人と言うよりボランティア精神を大切にすること

6. 認定 NPO 法人

当会も将来的には認定 NPO や社会福祉法人となって事業を拡張したいと考えていますが、認定 NPO 法人の認可を受ける要件について、法人後見をしているだけでなくプラス α の取り組みはどのようなものが求められるかを教えてください。

認定 NPO 法人の要件として

- ・絶対的要件：3,000 円以上の寄付が 100 件以上
賛助会員の会費はカウントできる
- ・相対的要件：寄付が予算の 20%以上を占める

つばさでのプラスαの取り組みとしては、

- ・制度の普及啓発 講師の受託 講談師の台本作成
- ・マクロ領域・メゾ領域⁶の積極的な取り組み
- ・計画相談の検討

<アドバイス>

- ソーシャルアクションにも力をいれること
- マスコミ⁷とも上手に連携をはかること

7. その他

先輩から後輩へ NPO 法人としての法人後見の留意点等をお教えてください。

- ・無料の申立支援取り組み
- ・本人申立の積極的な推進
- ・相談、申立、受任の一体的推進⁸
- ・ご本人の資産が、1,200 万円以上の場合の慎重な制度利用、家裁申立
- ・組織を担う幹部職員の確保、養成

<アドバイス>

- 申立支援を有料で行えば触法行為であること
- 個人後見より法人後見に優位性があるとの信念で取り組むこと

¹ 担当者養成講座カリキュラム

² スーパーバイザー養成講座カリキュラム

³ 業務検討会の開催区分

⁴ つばさの基本理念

⁵ つばさの組織図

⁶ ミクロ領域・マクロ領域・メゾ領域の概念図

⁷ 神奈川新聞 福祉職 OB スクラム

⁸ ワンストップ推進図